



宝永小だより

No.13

福井市宝永小学校

令和8年9月25日

学校教育目標:ひとり立ちできる子 ~心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成~
めざす児童像:進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

6年生「福井市小学校スポーツフェスタ」に参加

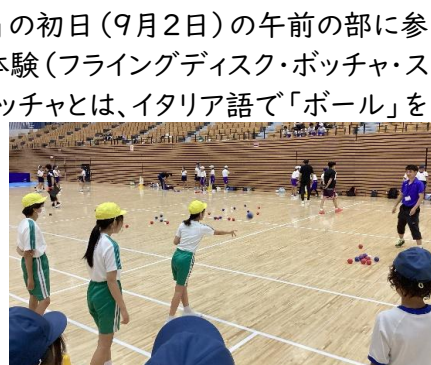
6年生の子どもたちが、セーレン・ドリームアリーナ（県営体育館）で行われた「福井市小学校スポーツフェスタ」の初日（9月2日）の午前の部に参加しました。本校の子どもたちは2つのグループに分かれ、ニュースポーツ体験（フライングディスク・ボッチャ・スティックリング・卓球バレー）を楽しみました。一つのグループはボッチャ（ボッチャとは、イタリア語で「ボール」を意味し、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたヨーロッパ発祥のスポーツです）とフライングディスク（プラスチック製のディスクとそれを使ったスポーツ競技種目を総称する一般名称として1984年に制定されました）に、もう一つのグループはスティックリング（福井県発祥ニュースポーツ）と卓球バレー（日本発祥のユニバーサルスポーツ）に挑戦しました。ボッチャは1チーム3人で、フライングディスクは1チーム6人で、スティックリングは1チーム3人で、卓球バレーは1チーム6人で構成し、他校の6年生と対戦しながら、ニュースポーツを楽しむとともに、交流も深めました。

ボッチャを体験した子どもたちは、白い目標球（ジャックボール）に赤または青のボールをそれぞれ6球ずつ投げたり転がしたりして、いかに近づけられるかを競いました。また、フライングディスクを体験した子どもたちは、3種類の一定の距離から輪っか状のゴールに向かってディスクを投げ、通過できれば得点となり、一人3回ずつ投げてチームの合計得点を競いました。スティックリングを体験した子どもたちは専用のスティックを使い、木製のパックを一つにつき2回打って、床の円状のポイントゾーン（的:中心の赤色は3点）へ滑らせ、最後にポイントゾーンに残ったパックの場所の合計得点を競いました。卓球バレーを体験した子どもたちは、卓球台を囲んで椅子に座り、ピンポン球を板状のラケットで打って、卓球台のネットの下（わずかな隙間）を通過させるように転がし、3打以内で相手コートへ返していき、1セット15点制で行われました。どの競技にしても、力加減を調整しながら得点を競い、みんなで楽しむことができていました。

さらに、9.98 スタジアム（陸上競技場）の見学もできました。残念ながら熱中症対策のため、ホームストレートを走ることはできませんでしたが、1周400mコースを歩いて回ることができました。また、スタジアム内の電光掲示板の前や9.98 スタジアムの入口で、集合写真を撮ることもできました。

今回のニュースポーツの体験を通して、子どもたちは得手不得手に関わらず、スポーツを楽しみ、興味・関心を高めることができました。今後も、子どもたちが、豊かなスポーツライフを実現していくことを願っています。

6年生の子どもたちが、セーレン・ド



＜ボッチャの様子＞



＜フライングディスクの様子＞



＜スティックリングの様子＞



＜卓球バレーの様子＞

＜6年児童の振り返り＞今日スポーツフェスタでニュースポーツ体験をして、スティックリングでは、説明を受けたときに福井生まれのスポーツということが分かりました。スティックリングは難しい競技で、力加減がうまくいきませんでした。卓球バレーでは協力することの楽しさや、障害のある人、健常の人、高れい者などだれもが楽しめるので、とても良いニュースポーツだと思いました。このようにたくさん経験をしたので、この後に活かしたいです。4年生のときに学習した福しについても頭に入れながら、取り組むことができました。だれもができるニュースポーツは卓球バレーだと思うので、またみんなでやりたいです。

＜6年児童の振り返り＞スポーツフェスタでニュースポーツをして感じたことは、いろいろな障害を持っている人でも、不利にならないようフェアということです。そのようなスポーツは、とてもいいと思います。もっと広めてもいいと思います。でも、私は、少し物足りなかったかな、と思いました。あまり動かないし、ハラハラ感ももっとあったら、もっと楽しかったです。あと、ボッチャをやっていたとき、意外とボールが重くてびっくりしました。それと、ジャックボールを投げるときに、「フェアじゃないから」と真ん中の方向にジャックボールを投げることがボッチャのみ力だと思いました。だから、これらのスポーツは、「フェア」を大切にして、とても良いスポーツだと思いました。

2年生 えちぜん鉄道で桜木図書館へ行く 9月2日(水)

生活科「みんなでつかうまちの

しせつ～図書館のことを聞いてみよう～」の学習の一環として、市立桜木図書館に行きました。

子どもたちはえちぜん鉄道の西別院駅まで歩き、電車の到着を「まだかな？」とワクワクしながら待ちました。電車が到着すると、順序よく乗車し、福井駅まで行きました。そして、子どもたちは再び徒歩で、アオッサの4階にある桜木図書館へ向かいました。

桜木図書館では、司書の方から「図書館って、どういうところ？」という話を聞きました。その後、普段利用している図書館のバックヤードに入ると、子どもたちは「すごい!」「はじめて見た!」と目を輝かせながら見学していました。また、本についての染みを取り除く作業や本にカバーテープを貼る作業を見せていただき、一冊一冊の本が大切に扱われていることを知りました。特に、本が消毒されているところを見て、子どもたちは「すごい!!」と驚きの声を上げていました。最後は、一人一冊ずつ好きな本を借りました。ここでは、公共の図書館を利用したことのある子どもが「こうやれば借りることができるよ。」とお友達に優しく教えていました。

桜木図書館の見学を終えると、子どもたちは徒歩で、えちぜん鉄道の福井駅に向かいました。駅では、子ども一人一人が帰りの切符を購入するというミッションに臨みました。少し緊張しながらも、自分で窓口の駅員さんに「西別院までの切符をください。」と伝えることができました。子どもたちは購入した切符を大切に握りしめ、うれしそうに改札を通過していました。多くのことを学ぶとともに、切符を買って電車に乗るという貴重な経験もできました。



＜本の消毒を見学する様子＞



＜切符を購入する様子＞

学団種目の練習に取り組む

前号で紹介しましたが、本年度の校内運動会から取り入れられた学団種目の練習が本格的に始まりました。低学年の種目名は『なかよしボール運びリレー』で、1年生と2年生がペアになって、くじ引きで決まったラケットを使い、ボールを挟んで運びます。カラーコーンを回り、使った道具を元通りに戻して、バトンタッチという内容です。中学年の種目名は『ゴールまで、むかででチョコチョコ向かってGO!』で、3年生と4年生混合の1グループ5名でむかでをつくり、全5グループでたすきをつないでいきます。高学年の種目名は『横から失礼!綱引き』で、助っ人制の変則綱引きです。赤・黄・青の3チームの内、最初は2チームで綱引きを30秒ほど行い、その後、残りの1チームは状況を見て、負けそうなチームに手伝い(加勢)に入ります。制限時間終了時に中央の真ん中ゾーンにいれば手伝い(加勢)したチームの勝ち、それ以外は引張った側の勝ちとなります。手伝い(加勢)したチームの判断力が勝敗を分ける頭脳派綱引きです。子どもたちは競技のコツや進め方などを仲間と話し合ったり、声援を送り合ったりして、当日の競技では1位になれるよう、心を一つにして練習に励んでいました。



＜3年生と4年生混合のむかで練習＞

1年生 虫取りに挑戦 9月17日(木)

生活科「いきものとなかよし～むしをさがそう～」の学習の一環として、子どもたちは網と虫かごを持って、県職員会館の草むらへ行きました。そこで、子どもたちはペアで力を合わせて、トンボやバッタなどの虫を見つけ、歓声を上げながら網を振り下ろし、思い思いに虫を捕まえていました。そして、捕まえた虫を虫かごに入れて、大事に教室へ持ち帰りました。子どもたちは秋晴れのもと、秋の自然に親しんでいました。

残念ながら、翌日には、虫かごの中のトンボが動かなくなっていました。トンボを虫かごに入れておくと、すぐに死んでしまうそうです。トンボは虫かごの中に入ると、逃げようとして飛び回り、すぐにエネルギーを使い果たしてしまうそうです。また、トンボは飛んでいる小さな虫を空中で捕まえて食べるため、止まった状態のエサは食べられないようです。これも子どもたちの学びであり、捕まえた虫の飼い方を調べて、虫が住みやすいすみかを作ってみるなど、学びを深めていってほしいと願っています。



＜ペアで虫取りを楽しむ子どもたち＞

*本年度は先月の大雨や秋の長雨による天候不順が続き、5年生が楽しみにしていた『昔ながらの稲刈り体験』は、9月4日(金)、予備日の8日(火)ともに雨模様だったため、中止となってしまいました。普段は体験することのできない『稲刈り』だけに、残念な思いでいっぱいです。

*校内運動会(9月29日、予備日9月30日)は、午前中のみで開催です。保護者の皆様には先日の文書でお知らせしましたように、保護者参観場所でご参観ください。授業の一環ですので、子どもたちとの接触はご遠慮ください。一生懸命に取り組む子どもたちの姿をご覧いただき、応援してくださいとありがたく存じます。